

消化器内科に、過去に通院・入院された患者さんまたはご家族の方へ (臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号)の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] ベバシズマブ誘発性高血圧に対する降圧薬の効果比較検討

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 寶金 清博

[研究責任者名・所属] 井関 健 (薬学研究院・教授／薬剤部長)

[研究の目的] 抗がん薬治療には様々な副作用が出現することが予想されますが、出現した副作用に早期に適切に対処することは治療を続けていく上で非常に重要です。大腸がんの治療でよく用いられるアバスチン®(ベバシズマブ)の代表的な副作用には高血圧があり、治療期間中に 10~20%の人が発症すると言われています。血圧が高い状態が続くと、他の臓器に負担がかかり、大切な抗がん剤の治療が続けられなくなる可能性もあります。しかしながらその高血圧をコントロールするのに最適な薬については、十分に明らかになっていません。この研究ではアバスチン®治療期間中の降圧薬の効果(腎臓保護作用や、血圧低下作用)を評価し、患者さんがアバスチン®を使って高血圧を発症した場合に最適な薬を探索することを目的としています。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

大腸がんの患者さんで平成 19 年 6 月 1 日から平成 29 年 11 月 1 日の間にアバスチン®による治療を受けた方

○利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、病歴、治療歴、体重、身長、検査結果(血液・尿検査)、血圧、糖尿病の有無、併用薬、処置内容、治療歴 など
平成 30 年 2 月までのデータを本研究に利用します。

[研究実施期間] 実施許可日~2019年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせするこ

とができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院薬剤部 担当薬剤師 高桑 志帆

電話 011-706-3455 FAX 011-706-4319